

学食へカレーなる恩返し



カレーを配る浜本行則さん(左から2番目)と、府立八尾高校の食物研究部員ら＝八尾市高町



◎食物研究部が開発した小松菜のペースト入りチキンカレー
◎学食店長の浜本行則さんが開発したポークカレーいずれも八尾高校同窓会提供

八尾高 おいしい返礼品 C F 目標3倍超

府立八尾高校(八尾市)の学食を応援する取り組みが広がっている。同校同窓会が、支援金に応じて返礼品としてレトルトカレーを受け取る購入型クラウドファンディング(CF)を7月1日に始めたところ、1カ月ほどで目標額の3倍以上の185万円が集まった。

2017年度末、同校で学食を運営していた事業者が経営難に陥り、学食が閉鎖。18年度から学食を引き継いだのが、ほかの高校でも学食を提供している浜本行則さん(46)だった。

社長の藤田博久さん(67)は「安くておいしい食事を提供する学食は経営が難しいのでは」と案じた。そこで昨春秋、母校に学食を復活させ、頑張ってくれている浜本さんに恩返しをしようとして、「学食」ありがとうプロジェクトを立ち上げた。売り上げの一部を浜本

さんに還元する。返礼品のカレーは2種類。浜本さんがレシピを作ったポークカレーと、八尾高校食物研究部が開発した小松菜ペースト入りチキンカレーで6食3700円だ。学校の敷地にある丘の名前から「八尾ぎつね山カレー」と名付けた。レシピ作りに参加した同部2年の小南万結さん(16)は週3回学食を利用するという。「学食はいくら食べなくても全く飽きないです。ずっと八尾高におってほしいな、と思って頑張りました」と話す。

CFのサイトには「八尾高生の胃袋を守るため頑張ってください」「息子が在学中です。いつもありがとうございます。ございます」などと、寄付した卒業生や保護者らのメッセージが記されている。新型コロナウイルス感染症拡大で休校が続いた影響で、八尾高校の学食も約3カ月間休業していた。浜本さんは「みなさまの厚意が本当にありがたいです。学食を続けられるよう精いっぱい頑張ります」と話した。

今後は、同窓会のホームページ(<https://yaoko-yukari.com/>)から、1口3700円の特別協賛金を支払えば手に入れることができる。(山田健世)